

早期発見!! 爪の感染症



足の爪の変形・変色が
気になったら、
皮膚科で爪健診。

爪水虫の特徴

- 爪が変色している
- 爪がボロボロになる
- 家族に感染しやすい

足の爪のトラブルは、一日中靴を履くことによる慢性的な刺激や爪水虫によるものが多く、爪の生活習慣病ともいえます。なかでも爪水虫は、日本人の10人に1人⁽¹⁾にみられるにもかかわらず、自覚症状がないため放置されることが多い疾患です。高齢者では、爪水虫が転倒リスクにつながることもあり注意が必要です。ご自分の足の爪を日頃からよく観察し、気になる症状があれば、皮膚科医に相談しましょう。

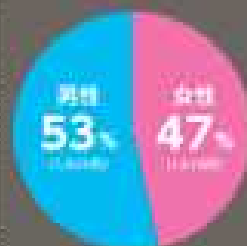
(1) 下記図表より



さくらい産科クリニック
院長 阪倉 経 先生

2003年 関西医科大学医学部を卒業。
岐阜大学医学部皮膚科入局、国立岐阜病院皮膚科、
關電厚生病院皮膚科、上野市立総合病院皮膚科・医長、
2011年 さくらい産科クリニックを開業。
皮膚科専門医、皮膚科専門医、認知行動医学専門医。

爪水虫患者の男女比



爪水虫は女性にも多い疾患です!

調査対象：全国を対象に34,710名の方へ行った調査の結果
より得られた。

調査方法：全国10の主要都市の健康意識の高い20歳代
から70歳代までの男女を対象に、2007年4月1日～
5月21日に実施された。調査内容は爪水虫の発症に
関する質問紙、本人の爪の写真を撮り、医師に
診断してもらうという方法で行った。

調査協力機関：国立研究開発法人 国立健康・栄養研究所

調査実施機関：国立健康・栄養研究所 皮膚科 研究部

爪水虫について詳しく知りたい方は
右記のQRコードからアクセス

爪水虫情報サイト



<http://www.sato-pharm.co.jp/nailed>

写真提供：国立医科大学 皮膚科 教授 坂倉 経一 先生